

News

建てたあとの交流で「住む楽しさ」共有

東京近郊の地域工務店で作る「OM東京多摩会議」は2月19日、共同で施主向けのイベント「東京楽しい暮らし展」を開催した。

太陽熱を利用した暖房給湯システム「OMソーラー」を導入する工務店の多摩支部が神奈川県支部の有志とともに3年前から開催しているもの。設備仕様に共通点がある施主同士の交流がブログなどを通じて始まったことがきっかけで、そうした動きをイベントとしてあと押しすることにより引き渡し後の暮らしの満足度を高めてもらう。

今年度は10社で主催し、各社のOB施主や、契約済み・契約見込みの施主が合わせて100人余り参加した。



工務店10社が施主向け共同イベント

当日は住まいと環境社の野池政宏氏や建築家の伊礼智氏が住まい手向けに講演を行ったほか、懇親会では「暮らし自慢大会」として、主催工務店から推薦された3世帯の施主が自宅の住み心地や暮らしぶりを紹介した。また会場内では施主家族が手づくりした家具や衣服、趣味の工芸品などを展示して、手づくりの楽しさを共有した。

主催工務店の1社・相羽建設の迎川利夫常務は「工務店の垣根を超えて住まい手が豊かな暮らしぶりをうまく学びあうことで少しでも暮らしの満足度を高めてほしい。顧客を囲い込んだり、他社を悪くいうやり方に現代の顧客は嫌悪感を持っている。そうした取り組みと一線を画し、施主本位の工務店であることを印象付けていきたい」と話した。

「ぎふ性能表示材」を積極的に使う工務店12社により「ぎふの木に住まい協議会」が発足



商圏の重なる工務店が横の連携を強める動きが目立っている。岐阜県内では、メンバー12社による「ぎふの木に住まい協議会」が発足。2月16日、岐阜市内で設立総会を開いた。

今年度は春・秋の連休を使って「同時一斉見学会」を行うほか、森の見学ツアーや家づくりセミナーの開催、会報誌の発行を予定する。

また研鑽活動として5月～10月に計5回のマーケティング講座を実施。8月～翌2月には木造デザインコンテストを招いて

「設計力・施工力・営業力を高めないと工務店は生き残れない。そうした認識に立ち、具体的に何をすればいいのかを徹底して考え、実践する組織にしたい。お互いに学び合えない限り各社の成長はない」と話した。

驚見会長はあいさつで、グループの性格を「県産材による差別化をねらう組織ではない」と強調。

「設計力・施工力・営業力を高めないと工務店は生き残れない。そうした認識に立ち、具体的に何をすればいいのかを徹底して考え、実践する組織にしたい。お互いに学び合えない限り各社の成長はない」と話した。

「ぎふ性能表示材」を積極的に使う工務店12社により「ぎふの木に住まい協議会」が発足

暮らしをつくる

設計やマーケティング学び合う組織に

横につながる工務店

岐阜でも県産材 キーワードに12社が連携

「ぎふの木に住まい協議会」が発足。2月16日、岐阜市内で設立総会を開いた。

驚見会長はあいさつで、グループの性格を「県産材による差別化をねらう組織ではない」と強調。

「設計力・施工力・営業力を高めないと工務店は生き残れない。そうした認識に立ち、具体的に何をすればいいのかを徹底して考え、実践する組織にしたい。お互いに学び合えない限り各社の成長はない」と話した。

「ぎふ性能表示材」を積極的に使う工務店12社により「ぎふの木に住まい協議会」が発足

「ぎふ性能表示材」を積極的に使う工務店12社により「ぎふの木に住まい協議会」が発足

商圏の重なる工務店が横の連携を強める動きが目立っている。岐阜県内では、メンバー12社による「ぎふの木に住まい協議会」が発足。2月16日、岐阜市内で設立総会を開いた。

今年度は春・秋の連休を使って「同時一斉見学会」を行うほか、森の見学ツアーや家づくりセミナーの開催、会報誌の発行を予定する。

また研鑽活動として5月～10月に計5回のマーケティング講座を実施。8月～翌2月には木造デザインコンテストを招いて

「設計力・施工力・営業力を高めないと工務店は生き残れない。そうした認識に立ち、具体的に何をすればいいのかを徹底して考え、実践する組織にしたい。お互いに学び合えない限り各社の成長はない」と話した。

驚見会長はあいさつで、グループの性格を「県産材による差別化をねらう組織ではない」と強調。

「設計力・施工力・営業力を高めないと工務店は生き残れない。そうした認識に立ち、具体的に何をすればいいのかを徹底して考え、実践する組織にしたい。お互いに学び合えない限り各社の成長はない」と話した。

「ぎふ性能表示材」を積極的に使う工務店12社により「ぎふの木に住まい協議会」が発足

「ぎふ性能表示材」を積極的に使う工務店12社により「ぎふの木に住まい協議会」が発足

記念講演ではロスコ・アールデイ研究所社長の佐藤善秀氏が「地域工務店のこれから」と題し、東日本大震災後の住宅市

場やマーケティングのポイントなどを解説した。同協議会の役員は次のとおり。

△副会長 藤井保明(新和建設)
△会長 鷺見隆夫(鷺見木材)

△事務統括 長屋邦良(ヤマジョウ建設)
△監査 林寛(丸平建設)、都竹雅之(飛驒工務店)

岩手で初の「ゼロ・エネルギー住宅」

日高見工務店(岩手県北上市、千田稔社長)はこのほど、岩手県初の「ゼロ・エネルギー住宅」を北上市内に完成させた。

一次エネルギー換算で、消費されるエネルギーが太陽光発電などで生産されるエネルギーを下回る住宅。深夜電力と太陽光発電を組み合わせて電気代を相殺する「光熱費ゼロ住宅」とは異なる。

同社はQ値1.0W/m²K以下の住宅を認証する「Dot(ドット)住宅」(運営・Dotプロジェクト事務局、盛岡市をベースに、パッシブソーラーデザイン、太陽光発電(8.6kW)、高効率設備とペレットストーブ、エネルギーの見える化などによりゼロ・エネを実現した。

寒冷地(次世代省エネⅡ地域)の北上市では家庭で消費するエネルギーの約半分が暖房に使われるが、これを次世代省エネ仕様の家の約3分の1に削減。また冬の日射取得と夏の日射遮蔽を考慮したパッシブ設計により、灯油換算で年100以上のエネルギーを削減できるとする。内外装には県産材を多用した。



暖房エネルギー一次世代の1/3

おかげさまで昨年は「330名」にご参加いただきました。

スタッフのスキルを上げて、少ない人数で効率的に仕事を回したい
スタッフのヒアリング能力を高めたい
自社商品の外観デザインやプランの質を高めたい

家づくり設計力・強化研修 定期開催

【3月のセミナー】 ■プランづくりセミナー ■プラン集活用セミナー

セミナーの詳細内容はホームページから ▶ <http://lbyu-net.weblogs.jp/> 住まいの文化座 検索

お申し込み お問い合わせ
遊 住まいの文化座 / 遊ベーシックデザインの会
TEL.03-3230-1070 FAX.03-3230-1021
E-mail:web@lbyu-net.com 東京都千代田区麹町 4-3 紅谷ビル 8F